

国際宇宙探査における我が国の探査シナリオ

火星

人類の活動領域の拡大

火星衛星サンプルリターン※
(2020年代前半)

ピンポイント
着陸技術

重力天体
表面探査技術



★ 無人火星探査

- 火星の利用可能性調査
- 火星の科学探査

長期間
滞在・活動技術



★ 火星の本格的な利用

- 長期にわたる火星の科学探査
- 多種多様な主体による火星表面活動

月

かぐや



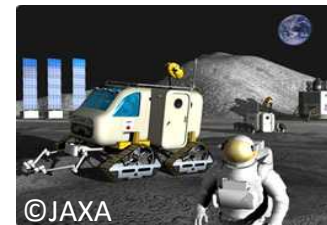
小型月着陸実証機
(SLIM(仮称))
(2019年度)

着陸機
輸送技術



月南極探査(2020年代初頭)

- 月の利用可能性調査(水氷等)
- 月の科学探査



★ 月の本格的な利用

- 長期にわたる月の科学探査
- 火星探査を目指した宇宙技術実証
- 多種多様な主体による月面活動

地球低軌道

こうのとりのとり (HTV)

HTV-X(仮称)

きぼう

研究開発プラットフォームとしての幅広い利用
(~2020年)

物資補給技術

生命維持・
環境制御技術

民間企業を含めた多様な主体による低軌道利用

★国際動向等を踏まえて実施を検討
※JAXA/ISASにて検討中



宇宙旅行

創薬研究

材料研究

再生医療研究

エネルギー技術

ロボティクス技術

自動走行・自動作業技術

人工知能

地上の最先端技術

災害地用ロボット

高効率再生エネルギー

地上への成果還元

新薬創製

新機能材料の創出

宇宙開発利用の拡大